

第27回 関東地方ダム等管理フォローアップ委員会 議事要旨

1. 日時 平成31年1月25日(金) 15:00～17:00
2. 場所 さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 災害対策本部室
3. 出席委員
宮村委員長、小笠原委員、清水委員、鈴木委員、知花委員、林委員、森泉委員
4. 議事 (1) 北千葉導水路の定期報告
(2) 浦山ダムの定期報告

5. 主な意見

(1) 北千葉導水路の定期報告

(委員) 5カ年の評価期間は、前回の5カ年の評価期間と比べて都市用水の供給量も供給日も増えている。

北千葉導水路が貢献していることについて、記載した方が良い。

(委員) カワヒバリガイの生態について知る事が対策を考える上で重要である。

(2) 浦山ダムの定期報告

(委員) 洪水等においてダムで流木を止めたことが評価されていない。ダムの流木を止める副次的効果の評価も重要である。

(委員) 今後の堆砂状況を注視していく必要があることを示すべきである。

このため、貯水容量に対する堆砂の比率の記載は、重要性の印象が薄まらない表現に工夫すること。

(委員) 今後の対応で望むことであるが、人口等の統計データは、この水源地域特有の特徴では無く、全国的に言えることであり、分析評価のメリハリや意味づけを持たせ、ダム管理者が行ったことを分析評価することが必要である。